

篆書

# 篆書張茂先勵志詩

呉讓之 清時代・十九世紀

教科書 6 ページ 東京国立博物館蔵

釈文

安心恬蕩、棲志  
浮雲。体之以質、  
彪之以文。如彼（南畝、）

書き下し文

心を安んじて恬蕩し、志を浮雲に棲まわし  
む。之を体するに質を以てし、之を彪するに  
文を以てす。彼の（南畝）に如き、（…）

大意

心を安らかにしてほしいままにし、志を空に浮かぶ雲に棲まわせる。内面の充実をもちま  
えとし、外面の美しさもはかる。あの（南の田圃）に行き、（…）

